

平成25年度第1回青森県立郷土館協議会について（会議概要）

今年度第1回目の青森県立郷土館協議会が開催されましたので、その内容をお知らせします。

1 日時 平成25年7月18日（木）午後1時30分～午後3時30分

2 場所 青森県立郷土館 小ホール

3 協議内容

- (1) 平成24年度事業実施状況及び利用状況について
- (2) 平成25年度事業計画について
- (3) 青森県立郷土館の博物館評価実施について
- (4) 指定管理者制度導入後の状況について

4 協議内容についての質疑・回答事項

- (1) 県立美術館とは展示会の開催に際して、どのような連携を行っているのか。同じ県立の文化施設なのだから、連携した形でできるのではないのか。
→ 県立美術館で開催した大哺乳類展に関しては、展示内容について郷土館の自然系の学芸員が協力を行った。また、相互に資料提供を行うなど、連携に努めている。
- (2) 三陸ジオパーク構想に関して、郷土館では、どのように関わっていくのか。
→ 昨年度の「青森県博物館等協議会」において、ジオパークをテーマとした講演会を開催した。今後の関わり方については、検討していくこととしている。
- (3) 展示会の開催に際して、展示内容を学生にレポートさせ、ツイッターのようなワンコメントで、若い感性での感想を新聞紙面に掲載できないか。
→ 現在も、新聞紙面で観覧者のコメントを掲載している。その内容の充実について、今後も検討を進めていきたい。
- (4) 郷土館施設の維持修繕について、どのような計画を持っているか。
→ 旧館の建物が既に80年を経過していることから、計画的に修繕を行っているが、大規模改修については白紙の状況である

5 協議内容に対する意見

- (1) 吉田初三郎鳥瞰図展について、観光パノラマ図を見て、実際に青森の観光に、どう結びついていったのか教えていただきたいし、勉強したい。
- (2) 吉田初三郎鳥瞰図展も平尾魯仙展にしても素晴らしい企画である。実際に展示会に足を運んでもらうには、来館者が興味・関心を持ち、訪れたいという気持ちを持つことが必要である。そのためにどのような広告を打つか、どう情報発信していくかが考えどころではないか。
- (3) 来館者アンケート様式について、より良い郷土館とするために、「満足」や「不満」とチェックした方が、どの部分に対してそのように感じたのか具体的な内容がわかるような様式にした方が良い。
- (4) 郷土館に来館すれば、展示内容が充実しているのがわかる。今後、他施設との連携を深めながら、どのように郷土館に誘導するかを考え、集客につなげてほしい。